

平成27年度
第1回 宮崎県河川整備学識者懇談会
=対象河川における流域の特徴=

- 1. 対象河川の流域の特徴**
- 2. 対象河川一覧比較表**

開催日 : 平成27年10月27日 14:00~15:30
開催場所 : 宮崎県西臼杵支庁

1.対象河川の流域の特徴（五十鈴川）

資料-2

流域の諸元	流域面積	209.4 [km ²]	幹川流路延長	48.0 [km]
	流域内人口	9,400 [人]	源流標高	1,101 [T.P.m]
	河床勾配 (河口部)	1/800	河道形状 (河口部)	複断面
	川幅 (河口部)	10m未満～150[m]		
関係市町村	門川町、美郷町			
気候	南海型気候区			
地形・地質	山地（上流）→低地（下流） 四万十帯古第三紀・白亜系（上流～中流）泥岩・乱雑層 四万十帯古第三紀・完新世（下流）乱雑層・礫・砂・シルト・粘土			
河口域の現状	汽水面、干潟、湿地 長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。			
河川の特徴	自然環境	溪流、連続した瀬淵、干潟		
	社会環境	国道10号、国道388号、東九州自動車道、門川市街地		
	歴史・文化	小松石塔群、門川城跡、市木のナギ、舟方轟		
	河川利用	釣り、祭り		
	河川景観	山地風景→田園風景→都市風景		
	河川環境	河口砂州、河口干潟		
	その他	溪流甌穴群。水量が豊富。		



- ・溪流、連続した瀬淵、干潟など多様な環境をもつ。
- ・五十鈴川溪谷や舟方轟などの景勝地。
- ・門川町の都市景観要素となっている。

1.対象河川の流域の特徴(神代川)

資料-2

流域の諸元	流域面積	3.1 [km ²]	幹川流路延長	3.0[km]
	流域内人口	14,000 [人]	源流標高	350 [T.P.m]
	河床勾配(上流域)	1/40~1/50	河道形状(上流域)	単断面
	川幅(上流域)	5[m]		
流域の概要	関係市町村	高千穂町		
	気候	南海型気候区		
	地形・地質	谷底平野(上流)→山地(下流) 四万十層郡及び古生代起源の秩父帯 更新世、阿蘇火砕流堆積物・段丘堆積物・降下火山灰層及び沖積層		
	合流点の現状	山地		
		河床材料は浮石で瀬・淵が連続する。周辺は山付となっている。		
	自然環境	連続した瀬淵		
河川の特徴	社会環境	国道218号		
	歴史・文化	天真名井、夜鳴き石、くしふる神社、荒立神社、高千穂碑、四皇子峯社、夜神楽		
	河川利用	河川清掃活動、河川再生計画における地元団体、住民等との意見交換会		
	河川景観	田園風景→市街地→山地		
	河川環境			
	その他	神代川かわまちづくり計画に基づいた整備が進められている。		



2.対象河川一覧比較表 (流域・河川の特徴等) 資料-2

項目	熊野江川	沖田川	鳴子川	五十鈴川	塩見川	赤岩川	新別府川	清武川	加江田川	伊比井川	宮浦川	風田川	細田川	福島川	神代川 (五ヶ瀬川 流域)	
流域面積 [km ²]	11.4	40.30	15.7	209.4	41.4	12.5	28.4	166.4	53.8	14.0	9.7	6.7	78.7	179.8	3.1	
幹線流路延長 [km]	5.8	13.3	7.3	48.0	12.3	6.6	10.0	28.8	17.5	7.5	5.8	2.7	16.0	28.0	3.0	
計画高水 [m ³ /s]	150	220	290		360	180	480	2,000	600	190	150	120	800	1,000	-	
気候	南海型気候区 気象観測所データに基づく(気象庁)															
源流標高 [T.P.m]	614	300	428	1,101	300~400	300~400	120	1,118	738	738	500	300	783	692	350	
地形	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	丘陵地 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	谷底平野 ↓ 山地 ↓ 合流点
地質	中生代 堆積岩	古第三紀 堆積岩	古第三紀 堆積岩	古第三紀 堆積岩	新第三紀 火成岩	新第三紀 火成岩	第四紀 堆積層	古第三紀 堆積岩	新第三紀 堆積岩	新第三紀 堆積岩	新第三紀 堆積岩	新第三紀 堆積岩	古第三紀 堆積岩	古第三紀 堆積岩	第四紀 堆積岩	
主な 土地利用	山林 農地	山林 農地 市街地	山林 農地 市街地	山林 農地 市街地	山林 農地 市街地	山林 農地 市街地	農地 市街地	山林 農地 市街地	山林 農地	山林	山林	山林 農地	山林 農地	山林 農地 市街地	農地 市街地	
流域・河川の 特徴	谷底平野が河口まで連続。 山林が河口まで連続。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	河口部に一部沖積平野をもつ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 山林が河口まで連続。	谷底平野が河口まで連続。 山林が河口まで連続。	谷底平野が河口まで連続。 山林が河口まで連続。	河口部に一部沖積平野を持つ。 山林が河口まで連続。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い谷底平野を持つ。 農地・市街地形成。	

2.対象河川一覧比較表 (社会環境等) 資料-2

項目	熊野江川	沖田川	鳴子川	五十鈴川	塩見川	赤岩川	新別府川	清武川	加江田川	伊比井川	宮浦川	風田川	細田川	福島川	神代川 (五ヶ瀬川 流域)
関係市町	延岡市		門川町	門川町 美郷町	日向市			宮崎市		日南市				串間市	高千穂町
流域内人口[人]	500	33,000	7,200	9,400	20,000	8,000	85,000	48,000	5,000	200	150	1,200	5,500	18,000	14,000
自然環境	日豊海岸国定公園				日豊海岸国定公園	日豊海岸国定公園			日南海岸国定公園	日南海岸国定公園	日南海岸国定公園	日南海岸国定公園	日南海岸国定公園		
社会環境	ひむか遊パークウミウララ	延岡市街地	門川市街地	門川市街地	日向市街地		市街地開発	清武・田野市街地 宮崎大学				河口部に病院等が立地	観光特急海幸山幸	串間市街地	市街地
歴史・文化	熊野江神社・神楽	伊形花笠踊り		小松石塔群 門川城跡 市木のナギ舟方轟	ひよつとこ踊り			本野原遺跡 舟引神楽	双石山	伊比井神楽	宮浦神社 鶴戸参り	さとねり 風田ぼんおどり	榎原神社	下弓田遺跡	天真名井
河川にまつわる文化・歴史等	水神様	伊形花笠踊り	水神様	—	—	水神祭り	一ツ葉稲荷神社	黒北発電所 外所地震	外所地震				河口砂嘴の市街地	精霊流し	天真名井
河川にまつわる天然記念物		アカウミガメ及びその産卵地(県)			アカウミガメ及びその産卵地(市)	アカウミガメ及びその産卵地(市)		アカウミガメ及びその産卵地(県)	アカウミガメ及びその産卵地(県)			アカウミガメ及びその産卵地(県)			
特徴的な河川環境	河口干潟塩性湿地 底生動物	蛇行汽水域 河口砂州		溪流 氈穴群 水量が豊富	河口干潟 汽水域	河口砂州	一ツ葉防潮堰 宮崎港	溪流 河原 河口干潟 水量が豊富	溪流 河原 河口干潟	自然河岸 地層露出		河口砂州	河口砂嘴 蛇行	溪流 河原 河口干潟 塩性湿地 (福島港)	
環境基準 (本川の状態)	— (AA相当)	B類型 (クリア)	A類型 (クリア)	A類型 (クリア)	A類型 (クリア)	— (A相当)	— (AA相当)	A類型 (クリア)	AA類型 (クリア)	— (AA相当)	— (AA相当)	— (AA相当)	AA類型 (クリア)	AA類型 (クリア)	— (A相当)
河川利用	—	沖田ダム青谷城公園	水神様	釣り、祭り	潮干狩り 内水漁業	小倉ヶ浜総合公園	—	木原河川緑地公園など 多い	加江田溪谷	簡易水道 サーフィン	サーフィン 授業	サーフィン	鯛取ふれあい公園 海水浴等	赤池溪谷 赤池の滝	河川清掃 意見交換会
その他	濡筋が発達。 底生動物の 出現種が豊富	ハマボウ群落	門川町の都市景観要素	—	日向市の都市景観要素	コアジサシの営巣地	商業地や住宅地の開発が活発化	—	—	表流水を簡易水道として使用	表流水を簡易水道として使用	河口域に病院や社会福祉施設が立地	砂嘴上に古くからの市街地が形成	—	—

2.対象河川一覧比較表 (河口域の特徴) 資料-2

項目	熊野江川	沖田川	鳴子川	五十鈴川	塩見川	赤岩川	新別府川	清武川	加江田川	伊比井川	宮浦川	風田川	細田川	福島川	神代川 (五ヶ瀬川流域)
河口域の平面形	直線	蛇行	湾曲	直線	湾曲	直線	直線	湾曲	湾曲	直線	蛇行	湾曲	蛇行	湾曲	-
河口域の縦断勾配	1/600	1/1,500	1/700	1/800	1/2,500	1/2,500	1/3,000	1/800	1/4,400	1/400	1/350	1/330	1/2,600	1/2,200	-
河口域の川幅(m)	単断面 30	複断面 150	単断面 70	複断面 150	複断面 300	単断面 40	複断面 70	複断面 250	複断面 300	単断面 50	単断面 25	単断面 30	複断面 150	複断面 200	-
水深の多様性	一定 (平坦河床)	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	一定 (平坦河床)	深場・浅場	深場・浅場	一定 (平坦河床)	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	-
河床材料	礫・砂	礫・砂	礫・砂	礫・砂	砂・シルト	砂・シルト	砂・シルト	礫・砂	砂・シルト	礫・砂	礫・砂	礫・砂	砂・シルト	砂・シルト	-
河口砂州	開口	開口	開口	開口	開口	閉塞	開口	開口	開口	閉塞	閉塞	閉塞	開口	開口	-
汽水域(km)	0.9	5.2	1.2	2.6	5.0	2.6	0.3	2.0	3.5	0.8	0.8	0.8	3.0	5.0	-
平常時の流れ	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	滞留	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	滞留	滞留	滞留	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	-
河口域の現状	短い汽水域に潮汐変動による深場・浅場が凝縮。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	河床は平坦でやや単調な環境。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	河口閉塞により滞留した長い汽水域が広がる。	堰上下流で淡水・汽水が分断。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	河口閉塞により滞留した単調な汽水域が広がる。	河口閉塞により滞留した汽水域が広がる。	河口閉塞により滞留した汽水域が広がる。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	-
河口域に形成された典型的な環境	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地砂丘	開放水面干潟	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地砂丘	開放水面湿地砂丘	開放水面砂丘	開放水面干潟湿地 ワンド砂丘	開放水面干潟湿地 ワンド砂丘	開放水面砂丘 河畔林	開放水面湿地砂丘 河畔林	開放水面湿地砂丘 河畔林	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地	-
魚類 (重要種数)	48 (7)	44 (6)	32 (5)	21 (3)	14 (3)	15 (1)	29 (0)	57 (10)	44 (7)	10 (2)	12 (3)	25 (3)	49 (7)	62 (10)	-
底生動物 (重要種数)	125 (30)	84 (20)	70 (22)	67 (14)	37 (10)	15 (2)	68 (7)	84 (24)	79 (25)	26 (3)	34 (2)	42 (3)	72 (14)	97 (21)	-
鳥類 (重要種数)	37 (2)	56 (4)	35 (2)	41 (5)	56 (5)	38 (3)	51 (5)	77 (11)	62 (7)	27 (1)	31 (1)	45 (7)	41 (5)	76 (12)	-
植物 (重要種数)	241 (4)	269 (5)	169 (2)	247 (0)	253 (9)	169 (3)	168 (0)	301 (5)	346 (8)	84 (1)	138 (1)	185 (1)	150 (2)	353 (7)	-